

前回の審議会の指摘事項及びその対応			
No	ページ	意見・要望	対応
1	9	つくばエクスプレスが開通する時に、市街化区域と市街化調整区域の割合が逆転した。都市計画と自然保護の両立させていることを事例を挙げて子どもたちに教えると良い。	対応しました。
2	10～14	評価は具体的に分かりやすく行ったことを書いた方が良い。	対応しました。
3	11	動物は生息、植物は生育と使い分けていると認識しているが、この点を確認していただきたい。	対応しました。
4	15	各拠点の評価を1、2行程度で書いた方が分かりやすい。	対応しました。
5	19～36	地域性を考えると千葉県レッドリストも有用である。環境省と千葉県の両方を記載した方が良い。	対応しました。
6	31・35	「みやその野鳥の池、坂川、熊野神社周辺の森」、「野々下水辺公園周辺」はどこを調査しているか分かりにくいので、空撮地図にその範囲をマーキングしてはいかがか。	対応しました。
7	33	芝崎小鳥の森は市民の森であることを記載した方が良い。	対応しました。
8	34	野々下水辺公園周辺の担保・制約性の評価結果に、民有地の自然環境が今後も存続されるか判断つかないと記載があるが、第三者的な表現ではなく、今の環境はキープしたい、キープするべきであるという提言的な表現にした方が良い。	野々下水辺公園周辺は、都市計画道路の建設計画があります。今後、周辺環境が大きく変わることが考えられ、「現状をキープしたい」という表現は難しいため、「今後も現在の環境を継続するには地権者の協力が必要になります」にしました。
9	38～40	定性的に書ける目標と定量的に書ける目標があればそのような書き方が良い。	基本方針AのⅢ、基本方針CのⅠの目標の書き方を変更しました。
10	39	特定外来生物の駆除を重点プロジェクトに位置付けないのはなぜか。	重点プロジェクトに追加しました。なお、「重点プロジェクト」は「重点」と付くため、他の事業よりも優先的、重要なものと考えます。これまで実施していなかったわけではありません。

前回の審議会の指摘事項及びその対応			
No	ページ	意見・要望	対応
11	39	基本方針Aの重点プロジェクトとして特定外来生物の除去活動をしていることを記してはどうだろうか。	特定外来生物の除去活動については55ページにコラムとして記載し、基本方針Aに特定外来生物の防除を設けました。
12	39	500本が純増であるならば緑化が進んだと分かるが、開発により木が植えられていた場所を切り開いて空いたスペースに植樹した本数をカウントすることは緑化が進んだと言えるのだろうか。本数よりも面積にするなど緑化が進んだと測れる指標にするのはいかがか。	みどりの基本計画の取組目標で、「まちなか森づくりプロジェクト等による植樹本数」を「500本以上/年」としています。また、緑被率、緑被面積は平成7年、平成16年、平成23年、平成30年、令和5年のみ測定しているため、目標は変更せず、1年間で500本の植樹とします。
13	40	環境教育は大切である。1回以上講習会等を実施しているだろうから現実合った目標にしたらいかがか。	イベントは年1回以上の開催を目標、学習機会の提供は「計画期間中に方向性を決め学習機会を設ける」としました。
14	40	「小学何年生は生物多様性について学習するためのリーフレットを作成する」と戦略に記載し学習できる状況になると良い。	具体的な学年までは現時点で決められないので、記載はしません。「計画期間中に方向性を決め学習機会を設ける」としました。
15	56・58	重点地区、緑の創出分布図に路線図に路線名と駅名を入れたらいかがか。	56ページの重点地区の図は駅名等を記載しました。緑の創出分布図は重点地区の図と同じように作成します。
16	57	どこで植樹を行ったか記載すると良い。物流センターでは多く植樹をしている。	対応しました。